



令和6年11月号

【学校教育目標】「知・徳・体」の調和がとれた**未知の状況に対応できる生徒の育成**

検索 神崎中

学校訓「凡事徹底・脚下照顧」

挨拶は 心に届ける 贈り物

神崎中だより



校内の菊の花

芋掘り交流会

11月1日(金)秋晴れの下、神崎中学校と香取特別支援学校の交流学习として、古原地区の畑をお借りして芋掘り体験を行いました。特別支援学校中等部の皆さんとバディを組み、協力して楽しく芋掘りができました。お互いに笑顔あふれる貴重な時間を過ごすことができました。



詳細↑

この芋掘り交流会は、畝作りから苗植え、除草作業に至るまで石井さん(古原)の多大な御協力があってこそこの行事です。本当にありがとうございました。



古原の畑に町研修バスで移動



実行委員による始めの会



バディと一緒に芋掘り



とても意欲的！



丁寧に掘り起こしました。



畝の中から育った芋が出てくると感激！



貴重な体験です。



畑の土(栄養)が良いので特大の大きさです！



連なって大収穫！



協力して活動しました。



積極的に運んでくれてありがとう。



青空の下、貴重な体験ができました。



多くの方々に感謝です。

中学生の「税についての作文・標語」表彰式



詳細↑

11月11日（月）香取神宮「神徳館」において、全国納税貯蓄組合連合会、香取郡市租税教育推進協議会及び佐原間税会共催「税についての作文・税の標語表彰式」が行われ、神崎中学校から3名の生徒が表彰されました。

さらに、加藤さんの作品は千葉県の代表として全国納税貯蓄組合連合会会長賞に輝きました。また、税の標語では3名の作品が入選しました。

この「税についての作文・税の標語」募集は、将来を担う中学生に対して、税について関心を持ち、正しい理解を深めることを目的に実施されているもので、多数の応募作品の中から選考され受賞したことは大変すばらしいことです。税の役割を身近な生活との関りから考え、税が日常の生活を支えている大切な存在であることを改めて考えることができました。

【税についての作文】

『全国納税貯蓄組合連合会 会長賞』

『佐原税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞』

「税金が作る優しい社会」 加藤 愛理さん（3年）

『神崎町長賞』

「人と人をつなぐ税」 石井 風音さん（3年）

『香取地区教育委員会連絡協議会長賞』

「私を助けてくれた税金」 田島 樹 さん（3年）



表彰式後の記念撮影（香取神宮）

『全国納税貯蓄組合連合会 会長賞』

『佐原税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞』

「税金が作る優しい社会」

加藤 愛理（3年）

皆さんにとって税金はどのようなものですか？私にとって税金は理不尽をなくすためのものだと思います。私は小学3年の時に大きな病気になり車椅子生活になりました。いわゆる障害者になったのです。障害者が生活するのにはたくさんのお金が必要でした。病気の治療費は勿論のこと、病気が治った後も全て容態が元通りというわけではありません。医療物品がたくさん必要です。それを国が17万円も負担してくれるのです。私の生活も税金で成り立っています。例えば、お風呂介助や体調管理をしてくれる訪問看護師さん、私の筋力低下予防のために来てくれている訪問リハビリや、私の世話で母が外出できないため、母の代わりに買い物に行ってくれるヘルパーさんの費用。そして、町が災害時には電源がないと生命に関わるということに心配してくれてモバイルバッテリーを買ってくれました。またモバイルバッテリーの補助も認めてくれました。それを聞いて本当に税金の有り難みを知りました。そして、税金を納めている人達に感謝しました。私はみんなの税金で生きているのです。病気になって治療している時は、自分の事が大変で金銭のことを気にする余裕がありませんでしたが、母に聞くと、集中治療室に1か月入っている時の入院代が約400万円かかっていましたが、子供医療受給券を利用すると3、4千円ですんだと聞いています。その事を聞いて私は、税金は必要な人・設備に適切に届く優しい制度だと感激しました。何の不自由もない日常生活を営んでいる私達の裏側で、税金が国民の意見に寄り添い、色々な観点から人々の生活が支えられているという現状があるのです。私達家族が不安を抱えず楽しく暮らしていけるのは、税金が人それぞれの需要に合った適切な支援をできるような形を変え、その人の生活を支えているのだと実感できたからだと思います。そして、この優しいお金は労働者の納税という不断的努力によって納められています。そのおかげで、現在まで理不尽によって経済的に苦しくなることはありません。小さいいざこざがあれど、みんな生きられる社会を実現しています。税金がどのような形で社会貢献しているかが見えてくると、未来を支える私達の納税の意識がより良い方向に変わっていくでしょう。

その思いの先にあるものは、いつも誰かが誰かを支え合い、明るい未来の為に一緒に頑張る道なのでしょう。そしてこの素晴らしい優しい制度をつないで、これからも一人一人に生きやすい社会が続くことを祈っています。私は、今の自分にできることは何か考えてみました。それは今、自分が置かれている状況で頑張るということでした。受験勉強を頑張って、将来きちんと税金を納め、社会を支える一人になれるよう頑張ろうと思います。子供の未来を支える税金のあり方や必要性を知ることで、みんなの税金への意識が変わればいいなと思います。

【税の標語】

優秀賞	「納税で 支えるぼくらの 未来絵図」	ルワンプラ セネハスさん（3年）
佳作	「税金は ぼくらのみらい 開く花」	奥山 優人さん（3年）
佳作	「税金は 未来の扉を ひらく鍵」	甲島 葵都さん（3年）

読売手作り新聞コンクール入選

千葉県連合読売会主催の「第9回手作り新聞コンクール2024」において、千葉県内の小学生・中学生・高校生1939点の応募の中から、本校生徒2名の作品がすばらしい成績を収めました。

また、多くの出品があったということで、「学校賞」を頂きました。

- ・最優秀賞（取材・内容賞）
浅野 結葵さん（2年）
- ・優秀賞（デザイン賞）
大野 真美さん（2年）



詳細↑



浅野さんの作品



大野さんの作品

香取神宮書画展覧会

11月22日（水）～26日（日）、香取神宮小中学校児童生徒書画展覧会が香取神宮（香雲閣）にて開催され、本校からも書写作品、図画作品が出品されました。

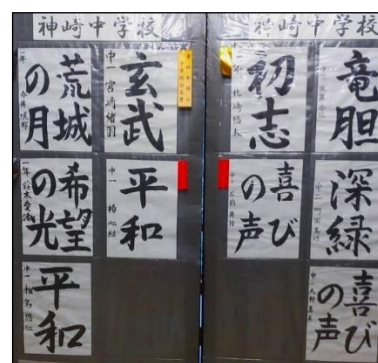
【書写の部 入賞者】

産経新聞社千葉総局長賞

- | | |
|----------------|--------|
| 宮崎 緒羽さん（1年） | 「玄武」 |
| 金賞 北崎 悠太さん（2年） | 「初志」 |
| 銀賞 今井 咲那さん（1年） | 「荒城の月」 |
| 鈴木 愛渚さん（1年） | 「希望の光」 |
| 銅賞 石橋 舞羽さん（2年） | 「喜びの声」 |
| 椿 心結さん（1年） | 「平和」 |



詳細↑



【図画の部 入賞者】

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 金賞 神崎 美来さん（1年） | 「テニスコートへの道」 |
| 塚本 稜 さん（1年） | 「部活の場所」 |
| 銀賞 三澤 一翔さん（1年） | 「技術棟のそば」 |
| 銅賞 ウィアンイン・パPASSアラさん（3年） | 「マットと私のスパイク」 |
| 三浦 時銘さん（2年） | 「木の影で」 |



香取小中学校体育研究協議会

11月13日（水）第52回香取小中学校体育研究協議会が神崎中学校で行われました。千葉県教育委員会及び香取地区の小・中学校から約70名の先生方の参観のもと、公開授業（2年体育、3年保健）では、生徒たちはとても意欲的に取り組んでいました。研究協議では、多くの先生方から生徒の活動に対して、お褒めの言葉をいただきました。



詳細↑



詳細↑

【研究主題】一人一人が主体的に課題に取り組む保健体育学習 ～言語活動の充実を目指して～

【3年A組 保健】健康な生活と病気の予防「性感染症の予防」



性的接触の連鎖による実験

どうしたら性感染症を予防できるか考えます。

【2年A組 体育】武道「剣道」



着座、黙想で心を落ち着かせます。

気・剣・体の一致へ



撮影した動きを確認

班で振り返りを行っています。

感想発表

授業ごとに研究協議

第2回再資源化物回収

御協力ありがとうございました！

11月16日（土）町PTA主催の再資源化物回収を行いました。前回同様、中学校の職員・保護者は各小学校に分かれて一緒に活動しました。保護者の皆様、地域の皆様、お忙しいところ本当にありがとうございました。収益金は、生徒の教育活動に有意義に活用させていただきます。 ※神崎中では、日頃から再資源化物回収を行っています。



詳細↑



【神崎小の様子】



【米沢小の様子】



日頃の再資源化物回収

車で駐車場へ



いつでも技術棟前へ！